

2025年 9 月 17 日

各 位

会 社 名 ラクオリア創薬株式会社
代 表 者 名 代表取締役 須藤 正樹
(コード番号：4579)
問 合 せ 先 執行役員 経営管理部門担当 志水 幹憲
(TEL. 052-446-6100)

胃酸分泌抑制剤tegoprazanのインドにおける製品発売に関するお知らせ

このたび、当社の導出先であるHK inno.N Corporation（本社：韓国・オソン、以下「HKイノエン社」）は、当社がHKイノエン社に導出した胃酸分泌抑制剤tegoprazan（以下「tegoprazan」）につきまして、提携先であるDr. Reddy's Laboratories（本社：インド・ハイデラバード、以下「Dr. Reddy's社」）がインドで新たに製品販売を開始したことを発表しましたのでお知らせいたします。

Tegoprazanは、当社が創出したカリウムイオン競合型アシッドブロッカー（Potassium Competitive Acid Blocker：P-CAB）と呼ばれる新しい作用機序の胃酸分泌抑制剤です。P-CABは、胃食道逆流症治療の第一選択薬であるプロトンポンプ阻害剤（PPI）とは異なるメカニズムで、PPIよりも速やかに、かつ、持続的に胃酸分泌を抑制するという特長を持つ新世代の治療薬です。Tegoprazanは、HKイノエン社により販売名「K-CAB®」として2019年に韓国で販売され、2024年までに韓国国内売上（院外処方実績）累積で7,054億ウォン（約705.4億円/1韓国ウォン＝0.11円）に達する大型製品となっており、韓国における胃酸分泌抑制剤市場でのシェア第1位を維持しております。Tegoprazanは、53カ国でHKイノエン社とライセンス契約が締結されており、今回のインドでの販売開始により、tegoprazan製品が販売されている国は18カ国に拡大しました。

インドにつきましては、2022年、HKイノエン社とDr. Reddy's社の間でインド、南アフリカ共和国および東ヨーロッパなど計7カ国を対象とする製品輸出に関する契約が締結されました。以後、Dr. Reddy's社が臨床開発等の取り組みを進め、インド中央医薬品標準管理機構（Central Drugs Standard Control Organization（CDSCO））から販売承認を取得し、販売開始に向けた取り組みを進めておりましたが、このほど販売開始に至りました。ブランド名は「PCAB」で、50mg製剤として承認されており、2025年5月時点で、「びらん性胃食道逆流症（EE）」「非びらん性胃食道逆流症（NERD）」「胃潰瘍」の3つの適応症で承認を取得しております。インドの消化性潰瘍薬の市場規模は、2024年時点で約1兆5,200億ウォン（約1,672億円）と評価されており、中国、米国、日本に次ぐ世界第4位の規模となっております。インドでは人口の約38%が胃食道逆流症（GERD）に悩まされており、効果的な治療の重要性が高まっています。Dr. Reddy's社は今月、50mg製剤をインド市場に投入し、同国の消化性潰瘍治療のパラダイムシフトを目指します。

当社は、HKイノエン社とのライセンス契約に基づき、HKイノエン社が提携先から受け取る収益の一部を受け取る権利を保有しております。本件により当社が受け取る一時金はありませんが、当社は、tegoprazanの販売国拡大が中長期的に当社の事業収益および企業価値の向上に寄与するものと考えております。

当社は今後も引き続き、HKイノエン社との連携をより強固にし、開発支援並びにサブライセンス契約支援を継続して実施し、胃酸関連疾患治療の選択肢を広げることで、患者さまのQOLの向上に一層貢献できるよう努めてまいります。

以上

<ご参考>

HK イノエン社ウェブサイト（韓国語）：https://www.inno-n.com/pr/news/view/1/1057?sch_text=